

338-A43ウ



1200800297229

文學士 添田壽一 著

外國爲換論完

東京 博文館藏版

6
7
8
9
40
1
2
3
4
5
6
7
8
9
5

始



外國爲替論

文學士 添田 壽一 著

第一章 外國爲替ノ目的及ヒ起原

外國爲替ノ目的
國際貸借ノ生
スル所以

外國爲替ノ目的ハ最少ノ煩勞出費ト最少ノ危険ト且ツ最少ノ利子ヲ失ヒ以テ國際ノ貸借ヲ完済スルニ在リ故ニ外國貿易上必要ノ利器ニソコノ事盛ニ利用セラレズンバ貿易ノ發達モ思ハシカラス乃チ貿易ノ盛ナルト共ニ利用セラル、者ナリ而シテ國際貸借ノ生スル原因ハ啻ニ物品ノ輸出入ニ限ル者ニアラズ株式公債ノ賣買ヲ始メ運賃ノ如キ各種事業ノ利益手數料及ヒ國債ノ元利償還國債募集償金貢金其他公私事業ノ爲メ海外ニ滞在スル人々ニ對スル仕拂在留費又ハ皆其本國へノ送り金

等はレナリ斯クノ如ク其由テ來ルトコロハ種々ナリト雖、凡其勘定上ニ於テハ同一ニシテ皆均シク國際ノ貸借ヲ生スルモノナリ故ニ何レノ原因ヲ取テ論スルモ不可ナク且ツ最モ多キヲ占ムル故物品ノ輸出入ノ釣合ヨリ來ルモノヲ採テ論スヘシ而シテ何レノ原因ヨリ來ルヲ問ハス一國モ亦タ一個人ノ如ク借アレバ之レヲ返却セサルベカラズ貸アレバ之レヲ請取ルノ權利アリ外國爲替ハ此ノ貸借ヲ容易ニ完済セシムルモノナレハ貿易上其效益至大ナリト謂フベク外國爲替行ハレサル時代ニ於テハ危險勞費多クシテ從テ巨大ノ資本アルニアラサレバ盛大ナル取引ヲ爲スコト能ハサリシモ今ヤ信用ノ機關ヲ利用セラレ爲替法ノ發明アリシヨリ外國貿易ノ働キ自由ニシテ其區域大ニ擴張シタリ然ノミナラス爲替ハ幾分カ彼我貸借ノ景況及ヒ幾分カ貿易ノ有様ヲ豫報スルノ用ヲ爲スモノニシテ爲替

研究ヲ要スルコト

ノ異動ハ外國貿易ニ容易ナラザル關係ヲ有スルガ故ニ頗ル深ク研究スルノ必要アリ

第二章 爲替手形ノ種類

手形ノ種類

通常手形

ゴツシエン氏ハ手形ヲ其性質ニ由リテ左ノ如ク區別シタリ

① 通常ノ手形、是レ債主ガ負債主ニ宛テ發スルモノニシテ例ヘハ甲國ノ債主ガ乙國ノ負債主ニ對メ發シ甲國ニテ割引テ受ケ新債主ヲ生シ此ノ新債主ハ之ヲ乙國ノ負債主爲替名宛支拂人ニ持參シテ其支拂ヲ受ケ相互ノ貸借ヲ完済スル所以ノモノナリ

間接手形

② 間接手形、貸借兩國間ニ於テ貸國ノ債主カ借國ノ負債主ニ宛テ爲替手形ヲ振出スコトハ通常ノ如クナレドモ借國ガ

融通手形

貸國ト商業頻繁ナラサル爲カ又ハ其他ノ事情ニ由リテ其手形需用者ナキトキハ借國ニ宛テタル手形ヲ其借國ト頻繁ニ取引ヲ爲ス他ノ第三ノ國ニ持行キ割引ヲナスナリ而シテ其ノ第三ノ國ニ於テハ借國ニ宛テタル手形ノ需用多ケレバ容易ニ其手形ヲ賣ルコトヲ得斯クノ如クシテ第三者ヲ媒介トシテ貸借ノ完済ヲ爲スヲ得ルモノナリ

ハ 融通手形、此ノ手形ハ眞ノ爲替手形ニアラズ商品ノ取引又ハ貸借ノ關係モナキ時ニ只一時現金ノ融通ヲナサンガ爲メ甲カ乙ニ宛テタル手形ヲ製シテ之ヲ銀行ニ割引セシメテ一時金錢ヲ利用スルモノニシテ一種ノ借金證書ニ外ナラズ故ニコノ手形ノ中ニハ性質ノ惡シキモノアルヲ免レサルガ故ニ之ヲ割引スルニ當テハ大ニ戒心ヲ加ヘサルベカラズ

手形ノ支拂期限ニ因ル區別

手形ノ振出支拂場所ニ因ル區別

然ルニ手形ノ拂底ナル時又ハ商品ノ販路思ハシカラサルトキハ此手形ヲ發行シテ一時融通ヲ滑カニスルノ利アリ然レトモ其利ハ以テ害ヲ償フニ足ラサルナリ

又期日ニ因リテ爲替手形ヲ區別スレバ ①短期手形及ヒ ②永期手形ノニアリ短期手形ハ十日以内ノモノ多ク之ニ三日ノ猶豫期日(デース、チフ、グレース)ヲ加ヘテ十三日トス之ヨリ以上ハ皆永期手形ト稱スレトモ大抵三ヶ月位ノモノ多キニ居ル倫敦市中ニ於テ銀行者ノ割引スルモノハ重ニ永期手形ナリト云ヘリ又爲替手形ヲ仕拂振出地ニ據テ區別セバ左ノ如シ

① 外國ニ於テ振出サレ日本貨幣ヲ以テ我國ニテ仕拂ハルヘキ手形

② 我國ニ於テ振出サレ外國ニ於テ仕拂ハルベキモノニシテ其額面金額ハ仕拂國貨幣ニ換算セラルベキ手形

② 振出人仕拂人共ニ外國ニ在ルモ我國ニ於テ取引サル、手形

又手形ニ①一葉ニ止マルモノ(ソートラス)ト②三葉ヲ要スルモノトアリ一葉ノモノハ駿速ニシテ便利ナリトイヘトモ紛失ノ憂アリ歐洲ニ於テハ三葉ノ方チ多ク用ユル由ナリ

尙爲替手形ノ様式ニ由テ分テハ則チ文面ヲ省略セザル所ノモノ①ト之ヲ略セルモノ②トアリ最モ甚シキ零式ハ只英國ノ如キ商業頻繁ナル國ニ於テ行ハル、モノニシテ歐洲大陸ニテハ之ヲ好マズ

第三章 爲替手形ノ價ノ變動

爲替手形ノ價

爲替手形ノ價格ハ一定不變ノモノニアラズ常ニ高低變動スル

モノニシテ其高下ノ主因ヲ類別スルトキハ左ノ表ノ如クナリ

格ナ變動スル諸原因

普通ノ場合

國際貸借ノ不平均ニヨル變動

甲 通常ノ場合

第一、貸借ノ差

賣手買手ヨリ少シ
賣手買手ヨリ多シ

第二、手形期限

長
短

第三、信用

厚
薄

第四、通貨

一、兩國間全一ノ貨幣制度

イ、萬國普
通貨幣
ロ、双方金本位
又ハ銀本位

二、兩國異ナリタル貨幣制度

イ、甲ハ金乙ハ紙幣
ロ、甲ハ金乙ハ銀
ハ、甲ハ金銀、兩本位、乙ハ單本位

高下ノ理由

乙 非常ノ場合

甲、普通ノ場合 第一節 彼我貸借ノ差ヨリ來ルモノ

第一 手形價格ハ國際貸借ノ不平均ニ由リテ高下スル者ナリ
語ヲ換ヘテ之ヲ云ヘハ兩國ノ貸借ニ差アルニ起ルナリ若
シ貸借相同シキトキハ高低ナカルヘシ是レ

- 一、若シ輸出ト輸入ト同シケレハ
 - 二、輸出者ノ債權高ト輸入者ノ債務高ト相同シ
 - 三、然ラハ手形ヲ賣ル者ト買人ト同力
 - 四、隨テ需要供給同シクナリ價ニ高低ナケレハナリ
- 右ノ場合ニ於テハ爲替價格平準點ニ在ルモノニシテ原價(パー)ト云フ即チ百圓ヲ以テ額面百圓ノ手形ヲ買ヒ得ルノ義ナリ

平準

輸入 輸出
仕拂人 振出人
買人 賣人

(但シ>ハヨリ多シノ略ナリ以下亦同シ)

右ノ場合ニ於テハ爲替相場下落ス通稱ヲ割引(ヂスカウント)ト云フ則チ額面以下ノ價ヲ拂フテ手形ヲ買ヒ得ルノ義ナリ

割引

輸入 輸出
仕拂人 振出人
買人 賣人

(但シ<ヨリ少ナシノ略ナリ以下亦然リ)

割増
右ノ場合ニ於テハ爲替相場騰貴ス通常割増(プリーミアム)ト云フ則チ額面以上ノ價ヲ拂ハサレバ手形ヲ買ヒ得サルノ義ナリ前ニ述ヘタル如ク爲替相場ハ手形ノ需用供給ニ由リテ上下ス

割増

正貨輸送點

ルモノナレトモ普通ノ場合ニ於テハ無限ニ昇降スル者ニアラズ其昇降ノ極點ヲ名ケテ正貨輸送點(スビーシー、ポイント)ト云フ正貨輸送點トハ正貨ヲ債主國ニ送附スルニ要スル運賃保險料及ヒ諸經費ノ總額ナリ今日本ヨリ米國ニ對スル手形ノ需用大ニ供給ニ超過シ其相場騰貴ノ百圓ノ手形百五圓トナリタリトセシニ日本ヨリ米國ニ金百圓ヲ送附スル入費五圓以内ナラシニハ何人モ此手形ヲ買入ル、者アラサル可シ何トナレハ正金ヲ送附スルト遙ニ優ル處ナレハナリ然ルニ輸送費六圓ヲ要ストセバ需用者ハ差引一圓ヲ利セントノ争テ手形ヲ買フナラシニ反シ爲替相場下落ノ割引ノ額輸送點以下ニ下落スレバ皆手形ヲ振出シ賣却スルヲ止メ正金ヲ取寄スベシ從テ正金外國ヨリ注入スルノ傾向ヲ生ズ之ヲ以テ爲替其國ニ順(フチア)又ハ「フェボレーブル」ナリトイフ然カルニ前例ノ如ク爲替相場騰

爲替ノ順逆

支拂期限ノ長短ニ因ル變動

信用ノ厚薄ニ因ル變動

貴シテ正金ノ輸出ヲ要スルトキハ正貨外國ニ流出スルヲ以テ爲替其國ニ逆(エゲインスト)又ハ「アンフェボレーブル」ナリトイフ

第二節 手形期限ノ長短ヨリ生スルモノ

第二、手形期限ノ長短ニ由リテ手形價格ニ高下アル所以ハ他ナシ期限永ケレハ從テ信用ノ度低ケレハナリ蓋シ永期ノ間ニハ負債主(手形仕拂人裏書人又ハ振出人)破産スルナドノ憂アリ又利子ノ變動ニ由リテ損失ヲ招クノ恐アリ期限短カケレバ以上ノ如キ憂ナク亦危險少ナシ

第三節 手形ノ信用ノ厚薄ニ因ルモノ

第三、手形就中振出人裏書人ニ對スル信用厚薄ハ以テ手形ノ品格ニ優劣ノ差(一等手形良手形ノ如シ)ヲ生シ厚ケレハ高ク薄ケレハ低キハ勿論ノ事ナリトス

第四節 彼我貨幣制度ノ差ヨリ起ルモノ

貨幣制度ニ因
ル變動

第四、貨幣制度ノ如何ハ大ニ爲替相場上ニ影響ヲ有スルモノ
ナリ

取引スル兩國間ノ貨幣①萬國普通貨幣ナルカ又ハ②兩
國ガ同一ノ貨幣制度ヲ採用スルカニ因リ兩國貨幣制度
一ナルトキハ爲替相場ノ高下ハ單ニ輸送點間ノ高下ニ
止マルベシ然ルニ③其制度相異ルトキハ其高下ハ管ニ
輸送點間ニ止マラズシテ其範圍外ニ出ルヲアベシ今イ
ロハノ順序ヲ逐ヒ左ノ三箇ノ場合ヲ設ケテ之ヲ説明セ
ン

甲國金又ハ銀
ノ單本位ニシ
テ乙國紙幣ヲ
流通スルトキ

① 甲國金又ハ銀ノ單本位國ニシテ乙國紙幣通用スル場合
ニ於テ爲替上ノ變化如何ト云フニ甲國金貨國ニシテ乙國
兌換金券國ナルトキハ是レ兩國金貨ヲ用フル場合ト異ラ
ス故ニ開キヲ生セサルヲ以テ爲替相場ハ單ニ國際貸借ノ

一方ハ不換紙
幣ナルトキ

如何ニ由リテ變動スベシ又甲國金貨單本位國ニシテ乙國
兌換銀券ナルトキハ後ニ述フヘキ④金國銀國間ノ取引ニ
均シトス然ルニ乙國ノ兌換紙幣兌換ノ實ヲ失フカ又ハ不
換紙幣ナル場合ニ於テハ金銀貨幣ハ一ノ商品タルニ過キ
ス他ノ商品ノ如ク紙幣ニ對シテ其増發ト共ニ騰貴スルモ
ノトス斯カル場合ニ於テ爲替ハ如何ナル度ニ到ルヤヲ討
究スルニ其割合ハ紙幣正貨ノ開キニ輸送點ヲ加ヘタルモ
ノナルベシ我國明治十四年頃及ビ魯國二十年來ノ財政如
何ヲ觀察セバ正貨ト紙幣ノ開キヨリ生スル爲替上ノ影響
ヲ知ルニ足ルベシ
然レバ此差額ハ何人ノ利益トナルヤト考フルニ是レ空シ
ク消滅スルモノニシテ何人ヲモ利スルモノニアラズ其故
ハ紙幣ノ下落トハ單ニ物品ノ價格昇リタルモノナレバナ

リ今英商ガ澳太利ニ商品ヲ輸出シテ千「フロリン」ヲ得ベシトセンニ當時ノ爲替相場ニテ一磅ハ十「フロリン」ニ相當ストセバ千「フロリン」ハ則チ百磅ヲ得ベシ然ルニ爲替相場一變シテ一磅十五「フロリン」ト爲レバ百磅ノ商品ヲ輸出シテ千五百「フロリン」ヲ得ベキ道理ナリ然ラハ輸出商ナル英人ノ損益如何ニト考フルニ澳國ニ於テ之ヲ使用セバ從來十「フロリン」ヲ以テ買入ルヲ得タル商品モ今日十五「フロリン」ヲ要シ之ヲ本國ニ送附スレバ十五「フロリン」一磅ノ割合ヲ以テ百磅ヲ得ルノミナレバ英商モ之ニ由テ利益スルトコロナシ只紙幣ノ増發其價格ノ低落ニ伴ヒテ爲替相場ヲ騰貴セシメタルノミ

右ニ述ヘタル取引、紙幣下落前又ハ後ニ完結セラレタルモノナレハ損益ナシト雖ヘトモ若シ其變動ガ取引ノ中ニ生シタルモノトセハ事体大ニ異ナルヘク前例ニ於テ英商ガ「フロリン」下落前ニ商品ヲ一萬「フロリン」ニ販賣シ其代價ヲ得ンガ爲メ未ダ手形ヲ振出サス又現金ヲモ取引セズ只帳面上ノ貸トシテ置キシ間ニ「フロリン」下落シテ英貨一磅ニ付キ澳貨元十「フロリン」ナリシモノ十一「フロリン」トナリ而シテ此相場ニ從ガハ澳貨一萬「フロリン」ハ英貨千磅ニアラズシテ九百磅餘トナラン然ラバ手形ヲ振出サンカ假令其額面通り賣ル、ト爲スモ英貨ニ引換フルニ當リ十磅弱ノ損失ヲ蒙ムヲサルヲ得ス然ルニ澳商ハ爲替變動ノ爲メ下落シタル澳貨一萬「フロリン」ヲ拂フテ其負債ヲ完債スルヲ得ベケレバ利益アリ故ニ紙幣下落取引間ニ起レバ債主損ヲ被フリテ下落國ノ負債主ノ利トナル可シ然リ而シテ紙幣ト金銀貨ノ間ニ開キヲ生シテ爲替相場變動スルトキハ彼ノ「グレシヤム」ノ法則ニ由リテ正貨益マス流出シ

グレシヤムノ法則

紙幣ノ填充ヲ促ガシ遂ニ國ヲ擧ゲテ紙幣不換國トナラシムルニ至ル事アリ露國ニ於テ二十年前紙幣ルーブルハ銀ルーブルト五割餘ノ開キヲ生シ爲換相場非常ニノ影響ヲ及ホスヨリ一時正貨ノ輸出ヲ禁シタルコトアリ

此如ク紙幣増發アレハ物價上リ輸入ハ増加シ手形ノ買人多クナリ手形ハ非常ニ騰貴スル場合ニ於テハ輸入品代價仕拂ヲ爲ス爲メニハ輸出者ノ外國ニ宛テタル手形又ハ手形ノ仲買人又ハ銀行者が賣出ス外國宛ノ手形又ハ其支店ニ宛テタル手形ヲ以テセザルベカラズ然レトモ尙ホ輸入非常ニ超過スル場合ニ於テハ手形ノ上昇ハ低止スルトコロヲ知ラズ況ヤ正貨ノ流出ヲ禁止シテ正貨仕拂ヲ塞クニ至レハ愈々甚シカルヘシ斯クノ如キ場合ニ於テ利スル者ハ輸出人及手形仲買賣出人ニシテ爲替手形ノ價格ハ殆ンド賣手ノ專賣價格トナリテ其際涯ヲ見ザ

ルベシ然ルニ斯カル情勢ハ永續スルモノニアラズ輸入商ハ其損失ヲ恐レテ手ヲ引キ輸出商及ヒ手形仲買人等ハ爲替ノ利ヲ收メントテ或ハ盛ニ本國ノ商品ヲ輸出シ又ハ荐ニ外國手形ヲ賣出スヲ以テ正貨流レ込ミノ傾向ヲ生シ爲替ハ漸次順ニ向フベシ

然リ而シテ手形ノ需要大ニ供給ヲ超ヘ手形ニ激變ヲ生セントスルトキニ當リテ例ヘハ我國ノ正金銀行ノ如キ設立アリテ盛ニ外國宛ノ手形ヲ賣出ストキハ一時輸入者ノ苦痛ヲ緩カニシ手形價格ノ激昂ヲ防グヲ得可シ然レトモ此政策寬嚴緩急宜シキヲ得ザレバ輸入商ヲ助クルダケ又輸出商ノ利益ヲ害シ却テ輸出減退ヲ來タスノ恐レナシトイフベカラズ豈ニ深ク慎マサルヘケンヤ

前項ニ述ベタル如ク紙幣増發ノ時ノ如ク非常ニ輸入輸出ニ超

過スルカ又タ他ニ外國送金ノ爲メ手形ノ需要増シタル時ニ於テハ政府又ハ手形仲買人ガ市場ニ於テ外國宛ノ手形ヲ賣出サバレバ輸入者ハ別ニ仕拂ノ途ナシ故ニ各人ニ在テハ負債トシテ残り政府ニ於テハ外債ヲ募リナトシテ困難ヲ救フノ外ナシ實ニ紙幣過發ノ事タル能ク之ヲ戒メザルベカラズ

紙幣下落ノ爲ニ正貨ノ流出

通貨缺乏ノ爲ニ生ズル逆爲替ノ救治

紙幣下落ノ爲メ爲替逆トナリ金銀貨幣流出スルトキハ通貨減ズルヲ以テ商品ノ價下落ハセストモ不活潑ノ觀ヲ呈スベシカ、ル場合ニ於テ政府ノ都合又ハ人民ノ催促ニ由テ紙幣ヲ増發スルコト常ナレド此ノ如キハ益々深淵ニ陥ルモノニシテ宜シカラズ通貨不足ヲ告ゲタルキハ之ヲ補充スルニ紙幣ヲ以テセズシテ正貨ヲ以テセザルベカラズ正貨ヲ得ルノ法ハ之ヲ外國債ヲ募ルノ途ニ依ラズシテ商品輸出ノ法ニ出ツベシ外國債ヲ以テ之ヲ救フハ一時ノ窮策ニシテ天然ノ療治法ニアラズ通貨減

ズレバ商品ノ價格減ズベク從テ輸出多ク正貨漸ク流入シテ爲替順トナルモノナレバ不得已ニアラズンバ紙幣ノ増發又ハ外國債募集ノ法ヲ用ユベカラズ我國ハ兌換紙幣國ナリ故ニ爲替逆トナルトキハ正貨ノ流出シテ兌換準備金ノ減却スルハ自然ノ勢ナリ何トナレバ輸入商人ハ買フベキノ手形ナクンバ己ノ有スル兌換券ヲ正銀ト引替ヘ債主國ニ送附セザルベカラザレハナリ已ニ日本銀行ニ於テ準備金減ズレバ之レニ相當セル兌換券ヲ引上ゲサル可カラズ之ヲ引上グレバ通貨ノ不足ヲ生ズルノ不便ヲ防止セント計畫スルハ其局ニ當ルモノ第一ノ思想ナリ己ニ正貨濫出シテ兌換ノ基本漸ク危ク遂ニ兌換ヲ拒絕セザルベカラザル場合トナラバ是レ不換ノ制ニ退歩スルモノナリ故ニ兌換ノ基礎ヲ鞏固ナラシメンニハ正貨ノ流出ヲ防カサル可カラズ其方法ハ輸出ヲ増加スルハ勿論例ヘハ正金銀行ノ

政府ガ外國宛
手形ヲ買入レ
テ市場ニ賣出
スノ利害

如キニ於テ外國宛ノ手形ヲ買入レテ之ヲ輸入商ニ賣渡シ不得
已ザレバ外國債ヲ募リテ之ヲ救済スルニアリトス然レトモ此
ノ如キ場合ニ於テ政府ガ正金銀行ノ如キモノ、手ヲ借リテ外
國手形ヲ買入レテ之ヲ賣出シ又ハ外債ヲ募集スルハ只一時非
常ナル爲替ノ激昂ヲ寬ナラシムルモノニシテ到底正貨ノ流出
ヲ防グ能ハズ正貨ノ回收ヲ計ルニハ輸出ヲ増シ輸入ヲ減スル
ニ在リ要スルニ爲替ノ順逆ハ貸借ノ權衡如何ニアルモノナレ
バ如何ナル手形ヲ以テスルモ之ヲ顛倒スルコト能ハズ只一時
其高下ヲ激動ナラシメザルヲ得ルニ止マルノミ

甲國ハ金貨ヲ
用ヒ乙國ハ銀
貨ヲ用ユル場
合

⑱ 甲國金貨國ニシテ乙國銀貨國ナル場合ニ於テモ尙前段同
様ノ理論ヲ以テ説明スルヲ得ベシ金ヨリ見レバ銀貨ハ一
ノ商品ニ過ギズ金ヨリ見テ銀價下落シタリト假定センニ
銀ノ金ニ於ケルハ尙紙幣ノ正貨ニ於ケルニ異ナラズ只其

開ノ多少アルノミ故ニ銀國ニ於テ金國ニ宛テタル手形ハ
銀貨下落ト共ニ價格大ニ騰貴ス可シ且ツ銀國ヨリ金國ニ
當時仕拂フ可キ負債アルトキハ尙一層ノ騰貴ヲ見ル可シ
然シ通常ノ場合ニ於テ金銀兩國間ニ於ケル爲替相場ハ兩
國間ノ負債ノ差ニ金銀ノ開キヲ加ヘタルモノナリト知ル
ヘシ

甲國金又ハ銀
ノ單本位ニシ
乙國金銀複本
位ナルトキ

⑲ 甲國金又ハ銀ノ單本位國ニシテ乙國複本位國ナルトキニ
於ケル爲替相場ノ變動ヲ考フルニ抑モ複本位ハ其實單本
位ニ異ナラザルモノナレバ金ノ價世上一般ノ價格ヨリ割
合安ケレバ銀ノミ通用シテ金貨ハ國外ニ出テ行キ銀貨ノ
價安ケレバ金世界トナリ金銀貨跡ヲ收ムルニ至ルガ故ニ
前ノ場合ニ於テハ其實銀本位ニシテ後ノ場合ニ於テハ金
本位トナル可シ故ニ①又ハ②ノ場合ト異ナルコトナシ

總テ爲替上利益ヲ占ムルモ、ハ常ニ債主ノ位地ヲ占メ常ニ騰貴スヘキ傾向アル金屬ヲ本位通貨トセル國ニシテ是レ英國ガ當時世界中ノ債主且ツ金本位國トシテ爲替取引ノ中心トナリ利益ヲ占ムル所以ナリ

乙、右ノ外例ヘハ戰爭ノ開クル前又ハ激烈ナル破産恐慌(パニツク)ノ來ル前ノ如キ總テ非常ノ場合ニ際シテハ爲替ノ相場ニ激變ヲ來スヤ勿論ニシテ例ヘハ今英國ト魯國ト戰端ヲ開ク事トナランカ英ニテ爲替逆隨テ廉ナリシ魯國宛ノ手形所有者ハ一時ニ賣出スヘキヲ以其價俄然地ニ墮ツルヤ必セリ

○第五節 米國ノ例ヲ以テ變動ノ原因ノ複雜ナルヲ示ス

手形相庭ノ高下ノ原因大畧以上ヲ以テ説明シタルガ如シ然レドモコレヲハ主トシテ短期手形ニ關シ種々ノ情況ナキ時ヲ示

スモノナリ若シ夫レ期限永ケレバ危險多カルヘク隨テ正貨輸送點以下ニ下落ス又永期手形ハ利子高キ國ニ於テハ利子高キホト其手形ノ價下カルベシ何トナレバ其利子賦合ノ差ハ手形買受人之ヲ負擔セザルベカラザレバナリ又彼ノ戰爭又ハ商業上ノ恐慌若クハ一國ノ破産ニ瀕スル等ノ如キ非常ノ場合ニ於テ輸送點以外ニ下落スルニ際シテハ一定ノ標準點ヲ定ムルコト能ハザルナリ

爲替相場變動ノ原因ヲ探究スルノ粗澁ナ

此ノ如ク爲替相場ヲ昂低スルニハ種々ノ原因ヨリ由來スルモノナルニ世ノ爲替相場變動ノ原因ヲ論スルモノ深ク其原因ヲ探究セズ其變動ヲ以テ唯ダ僅カニ二三ノ原因ニ歸シ皮相ノ臆說ヲ爲スモノアリ是レ大ナル誤ナリ今左ニ千八百六十七年米國南北戰爭ノ時ニ際シテ變動シタル爲替ノ顛末ヲ陳述シ以テ速斷論者ノ意ヲ辨スヘシ

ル實例

千八百六十一年米國ニ於ケル爲替激變ノ時ニ際シテ正貨ノ歐洲ヲ去リテ米國ニ赴クヲ見テ戰亂ノ際爲替ノ米ニ向フハ投機ノ然ラシムルトコロナリトイフモノ多カリシモ是レ全ク然ラサリキ此ノ如キ場合ニ於テ先ツ着眼スベキ点ハ歐米兩國間ノ貸借如何ニアリ當時歐洲ヨリ米國ニ向テ一時ニ正貨ノ流入セシハ其前米國ヨリ歐洲ニ小麥棉花ノ輸出夥多クシテ爲ニ歐洲ハ米國ニ對シテ借越ノ位地ニ在ルモノナリキ而シテ其一時ニ正貨ヲ注入シタルハ南北戰爭ニ際シテ米國商人ハ一時モ早ク正金ヲ回收セントテ恐懼心ニ逐ハレテ歐洲ヨリ一時ニ仕拂ヲ請求シタルニ由レリ

此頃說ヲ爲ス者ハ曰ク米國ハ此ノ如ク正貨回收ヲ急グヲ要セズ斯ク一時ニ正貨ヲ吸收スレバ其正貨ハ早晚再ビ歐洲市場ニ立戻ル可シ何トナレバ米國ニテハ正貨額ニ増加シタレバ利子下ガリ歐洲ニテハ之ニ反シテ金利上騰スレバナリト然ルニ此說ハ全ク徒勞ニ屬シ正貨ノ歐國ニ戻ラザリシ所以ハ他ナシ米人ガ歐洲ヨリ正貨ヲ収メタルハ是レ貸金ヲ輸入シタル者ナレバナリ正貨ノ輸入ヲ急キタルハ之ヲ使用セシメガ爲メニハアラスシテ萬一ノ爲メニ備ヘ貯蓄センガ爲メナリキ銀行者モ平時ナレバ也直ニ金利少シク高キ歐洲ニ送金スレドモ國事多端ノ折柄故貸出ヲ見合セタリ以上ノ如キ說ヲナシタル所以ノ者ハ千八百五十七年頃米國ニ正貨ノ注入シテ直チニ亦歐國ニ向ヒタル例ヨリ推考シタルモノニシテ深ク眞原因ヲ討究セザルニ由レリ千八百五十七年ハ米國ガ歐洲ニ借財ヲ有セシトキニシテ千八百六十一年トハ全ク其情勢ヲ異ニス凡ソ爲替ノ激變ハ爲替ノ一國ニ逆ナルトキニ生ズルコト普通ナレトモ千八百六十年ノ現象ハ全ク例外ニシテ其激變ハ爲替ノ米國ニ順ナルト

米國ノ不換紙

キニ起レリ

千八百六十一年ノ下落ハ程ナク一變シテ外國手形ノ俄カニ騰貴シタルハ米國政府ガ不換紙幣ヲ發行シタルニ由レリ正貨仕拂拒絕及不換紙幣ノ發行アルヤ爲替相場ハ五割乃至十割二十割ノ高度ニ達シタリ而シテ當時南方ニ於テハ實ニ倫敦宛ノ手形四十割増トナレリ然ルニ不思議ニモ北方諸洲ニ於テハ爲替ノ變動及ヒ紙幣ノ下落緩カニシテ其高下ノ度モ低カリシ故不換紙幣ハ激變ヲ來タスモノニアラストノ説ヲ爲ス者モアリテ益々之レガ發行ヲ促シタリ是レ不換紙幣發行上ニ最モ危キ點ニシテ少シツ、徐々ニ之ヲ發行スレバ其下落ヨリ生スル害毒著明ナラサルヲ以テ顧慮スル所薄ク知ラス知ラス増發シ遂ニ總崩ノ結果ヲ生スルモノナレハ最モ謹ムヘキノ事ナリトス

今米國ニ於テ不換紙幣發行ニ際シ其下落ノ急激ナラサルノ原

幣發行ハ爲替ノ下落ニ急激ナル變動ヲ見サリシ所以

因テ尋ヌルニ左ノ如シ

- ① 政府ガ不換紙幣ヲ發行シタルト同時ニ銀行ガ小額紙幣ヲ引上ゲタレバ政府紙幣ハ幾分カ其空處ヲ填充シタリ
- ② 米國ハ大洲ナリ故ニ政府紙幣ノ全國ニ普及スルハ多クノ時日ヲ要スルガ故ニ物價ノ騰貴モ徐々ナリキ
- ③ 西方カリフォルニア州地方ニ繁華ナル都府起リ金銀產出地トシテ取引繁昌ニシテ從テ通貨ノ需要ヲ増加セリ
- ④ 戰亂ノ際ハ信用ノ利用範圍收縮シ從テ通貨取引増加シ爲メニ通貨ノ需要ヲ増シタリキ
- ⑤ 戰爭ノ爲メ軍用金軍備金トシテ仕拂フ爲メ通貨ヲ要シタリキ我國維新ノ際新紙幣ヲ發行シテ諸藩主藩臣等ニ下渡シ流用セシメタリ然ルニ民間新紙幣ノ授受ニ馴レザル者ハ之ヲ受取ルヲ肯ンセズ故ニ不得已間々脅迫ノ手段ヲ

以テ流通セシメタル事アリシガ米國ニテハ之ホトニハ行
 カサリシモ幾分カ軍人ナトニ下渡セリ
 然レトモ此等ノ事情ハ永ク紙幣ノ下落ヲ支フル能ハズ早晚學
 理ニ由リテ下落ヲ生シ同時ニ爲替ノ變動ヲ生シ來リ一年ヲ經
 サル間ニ百圓手形百十一弗ヨリ百八十弗マテ騰貴セリ
 蓋シ英米間ニ於テハ爲替相場ノ平準ナル時ハ百〇九弗ト稱ス
 九弗ヲ加フル所以ハ通常英貨九磅ハ米國四十弗ノ割合ナルニ
 米金貨ト英金貨ノ純量及含量ヨリシテ百弗毎ニ九弗ヲ加ヘザ
 レハ右ノ比例ニ相等セザレハナリ今米紙幣ガ正貨ニ對シテ五
 割ノ開ヲ生シタリトセバ百弗ハ百五十弗トナリ九弗ハ十三弗
 半ト也爲替相庭ハ全計百六十弗半ニ騰貴ス可シ故ニ紙幣ノ下
 落ナキトキハ百〇九弗ヲ中心トシテ昇降スレトモ紙幣五割ノ
 下落ヲナセハ爲替ハ百六十三弗半ヲ中心トシテ上下スベキモ

ノトス

當時外國宛手
 形ノ買入ヲ刺
 激セシ原因

- 尙ホ右ノ外ニ米國ニテ爲替ノ變動ヲ助ケタルモノハ政府ガ金
 ノ取引ニ干涉シ之ニ重稅ヲ課シタルコト之レナリ此ノ如キ干
 涉ハ金ノ取引ヲ澁滯セシメテ手形取引ヲ増スコトナリ是レ金
 銀ニ重稅ヲ課スルハ金銀價ノ騰貴ニ均シキ結果ナレバナリ
 又當時人々ガ競テ外國宛ノ手形買入ヲ急キタルガ如キハ大ニ
 相場ノ激動ヲ助ケタルモノニシテ其原因ハ左ノ如シ
- ① 歐洲ニ負債ヲ有スル人ハ遠カラズ金ノ輸出ヲ禁ズルナル
 ベキコトヲ氣ニ構ヘテ外國宛ノ爲替手形ヲ買占ントシタ
 リ
 - ② 正金ヲ貯蓄スレバ其時日間ノ利子ヲ失ヘドモ手形ナレバ
 其價格益上進シテ利スルヲ得ベケレバトテ手形買入ヲ競
 フタリ

① 斯ノ如キ戰亂ノ際金銀ヲ貯蓄スレバ危險多ク爲替ニ安全
ヲ得サル爲メ手形ニ代ヘントセリ

總ベテ此等ノ種々ノ原因ヨリシテ手形ノ變動ヲ來タシタルモ
ノナレドモ其主因タルモノハ紙幣ノ發行ナリトス然レドモ紙
幣ノ下落ハ手形ノ騰貴ヲ左程激ナラシメズシテ寛ヤカナラシ
ムルヲ得タルハ米國銀行者又ハ資本家カ戰爭ノ爲メ正貨運轉
ノ道ナク又金銀ヲ貯フルノ危險ヲ慮リ熾ニ金銀ヲ歐洲ニ送り
タルニ由ル然レトモコレ等ノ金銀ハ紐育ヨリ大西洋ヲ經テ輸
出セラレタルニアラズカリアホルニヤ洲ヨリ大西洋ヲ經テ歐
洲市場ニ赴キタルモノトス是レ北部ニ於テハ南軍ノ掠奪印度
人ノ剽掠ヲ憂ヒ南部ニ在テハ北軍ノ奪掠ヲ慮カリ更ニ手ヲ廻
シテカリホルニヤニ於ケル金銀ヲ買入レテ送附シタルモノナ
ルベシ如斯ク手形ノ代リニ正貨ノ輸出サレタル事ハ大ニ外國

南北戰爭ノ局
面既ニ定リテ
手形ノ相場下
落シタル原因

爲替手形騰貴ノ勢ヲ挫キタリ其他ニ軍用品購求ノ爲メ現金ヲ
送附セル高モ亦少ナカラザリキ

千八百六十三年デツチスバークニ於ル米國南部ト北部ト天下
分目ノ戰爭ニテ南軍大敗ヲ取り天下ノ大勢已ニ定マリ北軍ノ
全勝ト決スルヲ以テ手形大ニ下落シタリ其原因ハ北軍政府ニ
於テ紙幣ヲ交換スルヲ始メ紙幣價格換回策ヲ施シタルニ由
レリト説ク者ナレトモゴツシエン氏ハ紙幣ノ交換ハ手形下落
前ヨリ着手セラレシナレバ之カ主因ナラズト云ヘリ氏ノ説
如何ハ茲ニ之ヲ問ハズ紙幣ノ減却ヲ實行セシヨリ手形價格ノ
下落ヲ來タセシハ爭フ可ラザルノ事實トイハザルベカラズ尙
ホ紙幣ノ價格回復ヲ助ケシモノハ北軍ノ勝利ナリ北軍ノ大勝
利ニ由リテ人心大ニ安堵シ當初ノ紙幣ノ下落ヲ見込ミシ人々
モ最早下落セズト推定シテ金銀ヲ賣出シ政府モ貯藏ノ金銀ヲ

賣出シタルヨリ金ノ價大ニ下ガリ紙幣價格上向トナリタルナ
リ然レドモ是レ一時ノ繙繚策ニシテ永久其下落ヲ支ユルモノ
ニアラズ則チ左ノ永久策ニ由リテ漸ヤク徐々ニ紙幣ヲ償却シ
テ價格挽回ノ効ヲ奏シタリ

戰爭後真正ナ
ル紙幣價格ノ
挽回策

一、紙幣ノ價格挽回策ヲ攷々汲々トシテ務メタルト
二、歐洲ト輸出入ノ貸借ニ於テ當時及其後モ常ニ貸越ノ位地
ニ在リタルト

三、歐洲ニ於テ預ケ金トシテ貯蓄シタル金銀少ナカラズ故ニ
之ヲ呼戻スル事ノ容易ナリシト

四、戰爭後棉花ノ販路非常ニ歐洲殊ニ英國ニ擴ガリシト蓋シ
全歐ニ於テ消費スル棉花ノ大半ハ供給ヲ米國ニ仰キ居リ
シニ南北戰爭ノ爲メ棉花輸入ノ道塞カリ爲ニ綿業者ハ休
業セシモノ多カリシカバ平和ト聞キテ皆先キテ爭テ買入

ヲ爲シタル故ナリ且ツ此際歐洲ニ於テ休業ノ爲メ破産セ
シモノ多カリシヲ以テ米國ノ棉花供給者ハ綿問屋ヲ信用
セズシテ現金取引ヲ請求セシヨリ正貨米國ニ流入スルト
多カリキ

前段項ヲ重サネテ詳論シタル米國爲替變動ノ顛末ハ一例ニ過
ギスト雖モ之ヲ以テ一高一下種々ノ原因アル事ヲ知り且ツ世
間往々見ルトコロノ爲替變動ニ關スル皮相說ノ誤レル事ヲ覺
ルニ足ラン

現ニ南北戰爭後正貨ノ頻リニ米國ニ注入スルヲ見テ是レ投機
商ノ策略ナリト解シタル者アリシモ畢竟歐米間ノ借貸如何ヲ
討究セザル皮相論ナリ夫レ投機商ハ變動ヲシテ或ハ寛ナラシ
メ或ハ激ナラシメ或ハ速カナラシメ或ハ遅カラシムルノ力ア
リト雖ドモ順ヲ以テ逆トナシ逆ヲ以テ順トナスガ如キ兼能無

限ノカアルニアラズ勿論手形仲買人ハ手形ノ變動ニ因テ利ヲ射ル者ナレバ自國ニ於テ手形下落スレバ他日ノ上リヲ見込テ買入又ハ外國宛手形本國ニ於テ騰貴スル時ハ正金ヲ送ツテ外國市場ニ於テ手形ノ買入ヲ爲シテ之ヲ需要者ニ販賣スル等機ヲ見テ賣リ又ハ買ヒ以テ利ヲ得ルト同時ニ上下ヲ甚シカラシメサルタケノ働ハ爲ス者ナリ

爲替相庭ノ變動ハ國際貿易ノ變動ヲ指示ス

要スルニ爲替高低ノ原因ハ種々ナリト雖トモ其根本ノ原因タルモノハ國際貸借ノ如何ニ在リ實ニ爲替相場ノ變動ハ國際貿易ノ變動ヲ示スコト尙航海者ニ向テ風雨鍼カ天氣如何ヲ預報スル如キモノナレバ苟クモ商業ニ從事スル者ハ能ク其理由原因ヲ審ニシ以テ貿易事業ノ方針ヲ強ヒサル様ノ注意ヲ爲スヘシ

第四章 爲替上ノ救治策

貸借上ノ關係ヨリ爲替ノ我ニ逆ナル場合ノ救治策

以上ニテ爲替高低ノ原因ト結果如何ハ大略之ヲ陳述セリ即チ一ノ原因ヨリ生スルヲ匡正センニハ宜ロシク其原因根元ニ溯リテ救治ノ策ヲ講セザル可カラズ今爲替ノ我ニ逆ナル時ヲ研究センニ爲替ノ我ニ逆トナリタルハ輸入ニ超過アリテ正貨ノ外國ニ流出スルヲ以テ也而シテ其流出ノ原因ハ即チ國際上ノ負債高貸高ニ超過シタルニアラザレバ利子ノ低落ナリ若シ然ラズンバ紙幣制度ノ悪シキカ又ハ其他ヨリ生スルナラン單ニ輸入ノ超過ヨリノ爲替ノ我ニ逆ナル場合ヲ取テ救治策ヲ研究センニ輸入ノ輸出ヨリ多キ爲メニ爲替逆トナリタル時ハ少ク買入多ク賣ルヲ以テ得策トナルハ勿論ナリ若シ利子ノ高下ヨリ來リタルモノナランニハ利子ヲ上ケテ爲替ヲ順ナラシムルニ如カズ又紙幣制度ノ悪シキヨリ生シタルモノナランニハ其

貸借ノ差違ト
利子ノ差違ハ
反比例ノ作用
ヲ爲ス

ノ制度ヲ確實鞏固ナラシムルノ外ナシ然カリ而シテ貨幣ノ下
落ヲ制止スルノ方法ノ如キハ一ニシテ足ラズト雖ドモ是レ專
口貨幣論ノ範圍ニ屬スヘキモノナレハ今ヤ專ラ輸入超過ト利
子ノ低減ヨリ起ル爲替ノ逆ナル事ニ對スル救済策ヲ講究スヘ
シ
夫レ貿易上貸借ノ差ト利子ノ差ハ猶反比例ヲ以テ働クノ傾向
アリ故ニ互ニ其作用ヲ妨ケ相互ノ制止ヲ爲スノ効アリ貿易熾
ニシテ爲替我ニ逆ナル時ハ正貨流出ス正貨流出スル時ハ通貨
減少スルヲ以テ利子上昇スヘシ故ニ爲替順ニ復スルノ傾向ヲ
生ス之ニ反ソ輸出輸入ニ超ユル時ハ正貨我國ニ注入サル、チ
以テ利子ノ低落ト共ニ正貨ハ出テ、他ノ高利ノ國ニ向フ可シ
凡テ爲替逆ナルトキニ當テハ外國宛ノ手形ハ騰貴スルヤ既ニ
述ヘタルガ如シ此ノ如クナレバ正貨ヲ以テ外國ニ仕拂ハザル

爲替ノ逆ナル
ヲ挽回スルニ
要法

ベカラサルナリ然ルニ其國ニ於テ利子ヲ高ムル時ハ獨リ正貨
ノ流出ヲ止ムルノミナラズ却テ注入ヲ促スコトアリ現ニ千八
百六十一年米英間ニ於ケル爲替上ノ關係ニ就テ考フルニ英國
ニテハ米國ヨリ多額ノ棉花小麥ヲ輸入シ大ニ借財ヲ生シ而シ
テ英國ニテ米國宛ノ手形ハ大ニ下落シタリ
此際其下落ノ甚シキ爲メ正貨ハ英ヨリ米ニ移ラントスルニ至
レリ然カルニ英國ニテ利子歩合ヲ上ケタルヨリ高利ヲ得ンガ
爲メ英國ニ殘リタリ否ナ英國ノ債主ハ英國ニ留メテ高利ノ方
ニ向ハシメン爲メ英國ニ送り方ヲ差シ止メ且ツ大陸ヨリハワ
ザク英國ニ預ケニ來リ之レガ爲ニ英ノ爲替ハ逆ヨリ順ニ變
ジタリ故ニ曰ク貿易上爲替ヲ順ナラシメンニハ二法アリ一ハ
輸入ヲ減ジテ輸出ヲ増ス一ハ利子歩合ヲ増加スル一是レナ
リ

我國ニ於テ行
ハルハ救済策

我國ノ如キハ頻年輸入ノ景氣熾ニシテ輸出ヲ増スル能ハザルノ情態アリ故ニ今第一ノ方策ヲ以テ爲替上ノ不利ヲ救済スル能ハズ然ラバ第二ノ策ニ依ランカト問ハンニ利子歩合ヲ進ムル事ハ容易ナリト雖トモ元來利子ヲ高ムルノ目的ハ外國資本ヲ呼ビ込ムニアリト雖トモ我國ハ世界ノ商業ノ中心点ヲ去ルコト遠ク些少ナル利子高下ヲ以テ外國資本ノ進退ヲ誘フノ力強カラザルナリ此ノ如ク我國ニ於テ二策共ニ能ク其效ヲ奏スル能ハサルヲ以テ種々ノ究策ヲ用ユルニ至レリ其第一策ハ手形ノ賣方ヲ増シテ外國宛手形ノ價格ヲ低下セシメ以テ正貨ノ輸出ヲ防グニ在リ此策モ或点マデハ不得已事ナリトイヘトモ其度合ヲ過ゴシテ手形價格ヲ引下ルトキハ是レ輸入者ニ利益ヲ與ヘテ輸出者ニ不利ナラシメ輸入ヲ減スベキ時ニ際シテ輸入ヲ獎勵スルノ恐アララン然リ而シテ其手形買入ニ用ヰタル正貨ハ

爲替ノ順逆ナ
ル意義

外國債ニテ得タル正貨ニアラスンハ國產ヲ輸出シテ其代價ヲ外國市場ニ貯蓄シタルモノナリ若シ又然ラスンハ政府ガ間接ニ送附シタルモノニシテ是レ正貨ヲ輸出シテ手形ヲ買入レタルモノナレバ此ノ事ハ正貨ノ輸出ヲ防止スル良策トイフベカラズ
蓋シ爲替順逆ノ語ノ起ハ主錢主義ヨリ出テタルモノニシテ正貨流入スルハ是レ國家ノ財力増加シタルナリ故ニ嘉ミス可シトテ順又タハ有利(フチャ)又ハ(フエボレーブル)ト稱シタルモノナリ然カレトモ是レ金銀吸收ヲ以テ直ニ財力ノ増加國家ノ繁盛ト誤解シタルノミ夫レ需要供給ノ大法ハ猶ホ雨水ノ浸潤スル如クニシテ其如何ナル場合ニモ妨クルモノサヘナクハ作用ヲ現ハサザルナシ故ニ常ニ金銀ヲ吸收シテ之ヲ吐出スルナキ能ハズ早晚入ルモノト出ル者ハ均一ニ赴クノ傾向ヲ生スルモ

ノナリ然ルニ短見狹識ナル貿易家及ヒ財政家ハ正貨ノ流入ヲ以テ國家ノ富チ増スト考フルハコレ免レサル所ナリト雖トモ畢竟學理上價值ノアル考ヘニアラズ何トナレハ爲替順ナレバ輸入者ニ利アレドモ輸出者ニ不利ナリ隨テ輸出チ減シ輸入チ増シ徐々逆トナルヘク此事タル決シテ人力チ以テ永久ニ抵抗スル能ハサル所ナリ又彼ノ兌換紙幣國ニ於テ正貨不足シテ兌換ノ基本鞏固ナラザル場合ニ於テ當局者ガ爲替ノ手段ニ依リテ正貨ノ流入ヲ促スハ止ムチ得サルニ似タレトモ叨リニ正貨回收チ事トシテ必用以外ニ通貨ノ回收チ計リ又ハ準備ノ基礎已ニ鞏固ナルモ尙ホ金銀ノ回收ニ汲々タルガ如キハ聊カ主錢主義ノ誤謬チ脱レザルナリ

輸出チ勤メテ
輸入チ節ス

故ニ永久真正ニ講スベキハ實ニ第一及ビ第二ノ救済策也蓋シ第一策ニ我國ノ如ク輸入ノ多キ國ニ於テハ熾ンニ輸出チ増ス

ベキ策ナクンバ不生産的(アンプロダクティブ)ノ買方チ止メテ正貨濫出チ防グノ外ナシ而カメ策若シ此ニ出デスンバ國家ノ破産チ免レズ結局奢侈ニ屬スル外國品ノ消費チ減シテ國產ノ増殖チ計ルニ在リ佐田介石翁ガ(ランプロ)亡國論チ唱ヘタルハ少シク極端ニ失スルノ嫌ヒナキニアラズト雖トモ我國人ガ節儉シテ可成内國品チ用非外國品ノ輸入チ防ガスンハ國家滅亡スベシト説キタルハ全ク探ルニ足ラストハ云フヘカラズ但シ同氏ノ重ナル謬點ハ第一外國品チ斥ケテ内國品チ使用セシメント欲スルノ極已ニ輸入セラレタル商品チ破毀セシメント計リシニアリ此事ハ經濟上不利ナリト云ハサル可カラズ是レ天物チ暴殄スルモノナレハナリ

第二、一切ノ外品チ斥ケントセシモ亦過ナリ蓋シ同シク外國品ニテモ之チ變造シテ内國製產物トナスノ材料又ハ補助器具ト

利子歩合ヲ高
メテ資本ノ外
出ヲ防グ

ナルモノアリ紡績ニ於ケル棉花機械ノ如キ是ナリ此ノ如キ品
ハ生産的(プロダクティブ)ノ物ナレハ多キヲ厭ハズ是レ製作ヲ
加ヘ再ヒ輸出トナルカ内國ノ實用ヲナセハナリ故ニ外品トテ
一般ニ擯斥スベカラサルモノナルヲ氏ガ擧ケテ不可ナリトセ
ルハ極端ニ走リタル經濟上ノ謬見ナリ
要スルニ我國力ヲ養ヒ國家ノ基礎ヲ固メンガ爲ニハ人々不生
産的ノ消費ヲ節減シテ儉約ヲ務メサルベカラズ然レトモ節儉
策ハ容易ニ行ハレズ動モスレハ却テ經濟上退歩ヲ伴フコトア
ルモノナリ然ラハ其折衷說ニ因リ先ツ人々個々幾分ノ贅澤消
費ヲ減ジ一方ニ生産ヲ増シ以テ着々歩ヲ進レバ或ハ我目的ヲ
達スルニ幾カラソカ

利子引上ゲノ
結果

行又ハ同盟銀行ガ一致協議ノ上其利子歩合ヲ高ムルコトハ左
程困難ナラサルモ俄ニ利子歩合ヲ高ムルトキハ實業家ヲシテ
周章狼狽セシメ計算違ヲナサシメ爲メニ資本ヲ注キテ企業ス
ル者ニ妨害ヲ與フルヲアラソ何トナレバ大ナル事業家ハ皆自
己ノ資本ヲ以テ其事業ヲ營ムニアラズ多クハ銀行其他金主ノ
補助ニ由テ運動スル者ナレバ利子高クナレバ從テ利益減スル
ハ自然ノ勢ナレバ隨テ銀行ノ借入金ヲ以テ事業ヲ興サント欲
スル者モ減少ス可キ上ニ既ニ企テ居ル者モ利子ニ追ハレテ廢
業スルニ至ラン這ハ全ク爲替以外ノ現象ニシテ外國爲替ノ影
響ハナキカコトキモ決シテ然ラズ利子高キニ過キテ産業ヲ妨
グレバ爲替ノ順ナリシモノモ遂ニ逆ニ變スル事アルヘキヲ以
テナリ

利子引上ゲノ爲替ニ及ボス單純ナル作用ハ利子引上ゲニ依テ

利セント欲シテ外國ノ債主ハ手形面ノ金額ヲ其金利ノ高キ所ニ預ケ外國資本家又ハ内國資本家ヨシテ外國ニ正貨ヲ有スル者ガ其ノ正貨ヲ輸入スルヲ以テ一方ニハ正貨ノ流出ヲ防キ一方ニハ正貨ノ注入ヲ促カスベク之ニ依テ爲替ノ順ニ赴ク傾向ヲ生セシムルニアリ

利子ニシテ引上ケラル、トキハ又一方ニ負債期限満チタル借金ニ對シテ負債主ハ餘分ニ仕拂ハサルベカラズ故ニ賣高ヲ増サバルベカラズ賣高ヲ急ゲハ需用供給ノ大則ニ由リテ物價下落シ物價下落スレハ輸入ヲ減シテ輸出ヲ増加シ以テ爲替ヲ順ナラシムル傾ヲ生スベシ

例ヘハ彼ノ投機心熾ナル片會社熱猖獗ナル片人々贅澤ニ流レテ購買心非常ニ増シタルトキ又ハ凶年ニシテ外國品購入ノ必要アルトキ利子ヲ引上グルコトハ有益ニシテ必要ナリ然ルニ

利子引上ニ對スル不平

カ、ル場合ニ於テ利子引上ケニ對シ不平ノ聲ノ囂然タルハ英國金融社會ニ於テ屢實驗スルトコロニシテ公平無私ヲ以テ聞ヘタル倫敦エコノミストノ如キスラモ時ニ英蘭銀行利子引上ケニ對シテ抗擊ヲ加フルコトアリ夫レ投機者ハ斯クノ如キ機會ヲ利シ低利ノ資本ヲ借り入レテ以テ莫大ノ利益ヲ賭セント欲スルモノナレバ利子引上ケニ由リテ己レノ利ヲ失ナハンコトヲ嫌ヒ不平ヲ唱フルハ人情ノ然ラシムルトコロナリ然レトモ一國ノ財權ヲ握リ一國金融ノ樞軸トナリテ金融社會ノ權衡ヲ保ツヲ以テ任トスル中央銀行ニ於テハ此ノ如キ不平ハ心ニ掛ケスシテ斷行セサルヘカラス又正貨流出ノ時機ニ際シテ通貨ノ欠乏ヲ告グルハ勿論ノコトニシテ欠乏ノ爲メ從來ニ均シキ取引ヲ爲スコト能ハス從テ取引減退セサルヲ得ス一時不自由ヲ感スルヨリシテ此不足ヲ滿タサン爲メ往々紙幣發行論者ノ願

ハル、コトアリト雖トモ這ハ良策ト云フヘカラス此策ノ外他ニ良策ナシトセハ致シ方ナケレトモ寧ロ外國ヨリ資本ヲ誘引スルニ在リ外國資本ノ注入ヲ促サンニハ其利子ヲ高メ外國ヨリ正貨ヲ輸入シテ我國ニ投入スルモ尙ホ其利益本國ニ於テ營業ニ用ユルヨリモ多カラシムルニアリ

利子引上ノ奏効如何ヲ知ルノ標準

利子ノ引上ケカ果シテ効ヲ奏シタルヤ否ヤヲ知ラン爲ニハ先ツ利子引上國ニ對シタル手形ガ他ノ市場ニオイテ其價格ヲ上昇シタルヤ否ヤヲ檢スヘシ例ヘハ英國ニテ利子引上ヲ實行シタル爲ニ米國ニテ英國宛ノ手形騰貴シタルハ是レ其効用ヲ示スモノナリ其騰貴進ンテ輸送點以上ニ至レバ正貨流出シテ英國ニ入ル可シ利子引上ケニ由リテ單ニ手形上昇セシノミニシテ正貨ノ注入ナクンバ其效ナキガ如シトイヘトモ結局流出セサル可ラサル正貨ノ流出ヲ防止スルコト、ナレバ之ノミニ

テモ消極的ノ利益アリト云ハサルベカラズ

斯ク論シ來レバ利子引上ノ勢力非常ニ大ナルカ如シトイヘトモ此事モ亦萬能ナルモノニアラズ故ニ自然ノ法則ニ逆テ希望ヲ達スベキモノニアラザルナリ彼ノ英國銀行ノ如キハ金融ノ中心タル英國ニ在リテ世界金融ノ全權ヲ握リ隨意ニ世界ノ金銀ヲ左右スルヲ得ベシト想像スルモノアレトモ決シテ然ラズ英國銀行利子引上ケ又ハ引下ケノ勢力ノ及フ所ハ只己ノ貸付ケ得ル正貨額ニ止マルモノニシテ亦永續スベキモノニアラズ實ニ數日乃至數週日ニ過キサルナリ但シ英國銀行ガ利子引上ケヲ爲スニ因リテ一般ノ金利ガ騰貴スルニアラズ英國銀行ガ利子ヲ引キ上クルトキハ己ニ他ノ諸銀行ニ於テモ實際引上ケヲ決行シタル後ヲナリト知ルヘシ故ニ英國銀行ガ標準歩合ヲ引上ゲタルハ一般金利ノ引上ケラレタル結果ニシテ一般金利

ノ騰貴ハ英蘭銀行利子引上ゲノ結果ニアラズ其狀全ク逆サマ
 ナリ故ニ英蘭銀行カ利子引上ヲ見テ獨リ罪ヲ英蘭銀行ニ歸ス
 ルハ皮相上ノ管見ト云ハサルベカラズ
 前ニ述ヘタル如ク英蘭銀行ノ利子歩合ヲ引上タルハ既ニ一
 般利子歩合ノ上リタルハナレバ英蘭銀行ノ利子ヲ引上クル位ノ
 時ニ在テハ爲替相庭ニ變動ヲ生メ爲替ハ英國ニ順トナルベシ
 是ニ由テ之ヲ觀レバ英蘭銀行ノ勢力非常ニ偉大ナルガ如シト
 雖凡其實英蘭銀行ノ利子引上ゲハ一般利子引上ゲニ後レテ生
 スル者ナルト英蘭銀行利子ノ歩合ハ諸銀行利子歩合ニ標準ヲ
 取ルヲ以テナリ然レトモ英蘭銀行ニ於テ利子引上ヲ決行スル
 トキハ資本英國ニ來ル方ニ向ヒ爲メニ爲替ノ潮流順トナルヘ
 シ之ト同時ニ外國ニ於テハ英國宛ノ手形必ズ騰貴セン是レ何
 人モ英國ヨリ取戻シテ見合セテ高利ニ使用セント欲スレハナ

手形ノ割引ノ
 爲ニ損益ヲ計
 算スル利子歩
 合

リ之ニ反シテ英國ニ於テハ外國宛ノ手形漸次下落スベシ何ト
 ナレバ外國債主ハ手形又ハ負債ノ支拂ヲ急ガズ從テ之ヲ購買
 スルモノ少ナケレハナリ
 茲ニ一ノ注意スヘキモノアリ凡ソ手形ノ割引ニ際シテ損益ヲ
 計算スルニハ其宛タル地ノ利子歩合ヲ以テ標準トスル事是ナ
 リ例ヘハ三ヶ月後ノ手形ヲ買入ル、ニハ三ヶ月分ノ利子ヲ減
 シテ之ヲ買フヘク而シテ其利子ハ手形仕拂地ノ利子歩合ヲ以
 テ計算セラル、モノナルコトヲ記臆セサルヘカラス又手形ノ
 賣手ハ其利子ニ相當スル額ヲ割引サル、モ決シテ損失ナラス
 何トナレハ手形ノ全額ヲ得ンニハ其期限ノ至ルヲ待タザルベ
 カラザルヲ以テナリ
 手形賣買ヲ業トスル銀行家仲買人ノ利トスルトコロハ内外國
 間ニ於ケル手形利子歩合(割合)ノ差ニアルモノナリ若シ二ノ差

ナクンハ手形割引業ハ決シテ行ハルヘキモノニアラス此手形ニ對スル利子歩合ハ年何歩ナルニ因リ何程差引スルナト、云ハスシテ手形價格ノ中ニ算入サレアルモノナリ前述ノ如ク銀行家ナドハ手形賣買ヲ以テ業トスルモノナレバ現ニ英國宛ノ手形ノ如キハ夥シク大陸銀行者ノ掌中ニアリテ其額幾億萬ナルヲ知ラス斯ク英國宛手形ガ外國銀行ノ手ニ在ルコトハ英國財政家ノ輕々ニ看過スヘキコトニアラス何トナレバ一朝英國利子歩合ニシテ大陸ヨリ下落センカ彼レ等ハ手形ヲ以テ英國ニ向テ正貨ノ引換ヲ請求スベシ而シテ此場合ニ於テ英國ニテハ爲替ノ形況一變ノ正貨ノ流出ヲ促スヘキヤ必セリ此方策ヲ用ヰテ外國ガ英國ノ正貨ヲ取り去ルコトハ難キニアラズ現ニ獨乙國ガ金本位ノ基礎ヲ定ムルニ當テ盛ニ手形ヲ買入レテ英貨ノ磅ヲ吸收セシコトハ外面ハ兎モ角内實ハ盛ニ利用セシ所

到底爲替ノ逆
ヲ挽回スルハ
利子引上ト輸
入ヲ減少スル
ニアリ

他ノ事情ノ爲

ナリ外國ガ盛ニ此策ヲ用ヰテ正貨ノ吸收ヲ始メタランニハ一時正貨ノ輸出ヲ禁止スル如キ窮策ヲ用ユルニアラスンバ其流出ヲ止ムル能ハサルヘシ此不幸ナル場合ニ際シテ施スベキ第一策ハ先ヅ利子歩合ヲ引上グルニ如カサルベシ第二策トシテハ輸出ヲ見合スニ在リ輸入常ニ輸出ヲ超過セバ利子引上ゲヲ爲スモ及ハサルコトアルベシ且ツ利子引上ゲニハ其定限アルモノニシテ引上度ニ過クルニ於テハ内國産業ニ影響シテ其進歩ヲ妨止スルコトナキニシモアラサルコトハ嘗テ述ヘタルガ如シ然レトモ一概ニ利子低キ國ノ正貨ハ常ニ利子高キ國ニ向テ流出スルコト水ノ低キニ就クガ如シト云ヒシハ是レ他ニ事情ノ加ハラサル場合ニシテ種々ノ事情ニ因リテ此原則モ行ハレサルコトアリ現ニ漢堡倫敦間ノ如キ是レナリ

例ヘハ倫敦ニ於テ利子歩合年六分ニシテ漢堡ニ於テ年二分ナ

ニ妨ゲラレテ
正貨ノ利子高
キ國へ流出セ
ザル理由

ルニ正貨猶ホ倫敦ニ向テ去ラサル所以ヲ研究センニハ先ヅ倫
敦通用ノ正貨ハ金貨ニシテ漢堡通用ノ貨幣ハ銀貨ナルコトヲ
考ヘザルベカラズ漢堡ノ商人ガ倫敦利子歩合比較的ニ高キヲ
以テ倫敦ニ正貨ヲ輸出セント欲セバ先ヅ金銀ノ割合ヲ考フル
コト第一着ナリ其正貨運送手形買入ノ順序ヲ考フルニ先ヅ銀
貨ヲ倫敦ニ輸送シテ之ヲ市場ノ相庭ヲ以テ賣渡シテ金貨ヲ溜
メ其金貨ヲ以テ手形ヲ買ヒ其手形ノ期限ニ至リ金貨ヲ受取ル
ト故其金貨ヲ漢堡ニ持歸ル前銀ニ代ヘサルベカラズ然ルニ其
時銀ノ價下落シタリトセバ其下落ヨリ生スル損失ヲ差引カサ
ルベカラズ今此取引ノ順序ヲ考フルニ漢堡商人ノ利シタルト
コロハ兩國利子歩合ノ差ニシテ年四分ナリ今此人ガ三ヶ月拂
ノ手形ヲ求メタリトセバ一分ノ利ヲ得ヘキ筈ナリ然ルニ正貨
輸出及ヒ積返入費及ビ金銀相場ノ變動等ヨリ生スル損失等ヲ

正貨ヲ遠方ニ
輸送スルニハ
巨多ノ費用ヲ
要ス

計算セバ其利害得失ハ甚ダ疑ハシキモノナリ故ニ容易ニ手出
シセス以上ハ是レ一概ニ正貨低利ノ地ヨリ高利ノ地ニ向ハサ
ル所以ナリ然レトモ長期手形ナレハ其運搬ニ要スル入費ハ一
様ニシテ利スルトコロハ増スモノナレバ利益ヲ生スヘク隨テ
取引アルベシ
前例ニ述ヘタル如ク正貨ニハ多額ノ運搬費荷造費其他ノ雜費
ヲ要スルモノナレバ遠隔距離ノ間ニ於テハ單ニ利子引上ケヲ
以テ正貨ヲ吸收センコトハ至難ノ事ナリ英國及ビ大陸國ニ於テ
モ英蘭銀行ノ利子引上ケニ僅少ナル片ハ少シモ爲替ノ變動
ヲ生スルニ至ラズ故ニ其ノ額ハ年一分ニテハ効能ナシ少クモ
巴里ニ對スル正貨輸送點以上ニ高メサルヘカラズ而シテ尙ホ
效驗薄キトキハ更ニ利子ヲ高メテ白耳義和蘭獨逸國ヨリモ吸
收スルニ至ラシメスンハアラズ

融通手形ノ使
用他ノ手形ノ
價格ニ影響ス
ル所以

又彼ノ融通手形ハ之ニ對スル資金アルニアラズ有名無實ノ手
形ニシテ多クハ手形ノ賣手盡クルモ買手尙ホ存スルトキ發行
サル、ナリ何トナレハ手形ノ需用大ニ供給ニ超過スレバ手形
價格隨テ上昇スレバナリコノ信用ニ基キタル手形發行サル、
トキハ幾分カ騰貴ヲ止ムベシ此手形ハ手形ノ價ノ激變ヲ防グ
モノナレバ之ヲ適當ニ發行セバ害ナシト雖トモ素ト是レ信用
ニ基キタル手形ナレバ過發ノ弊甚ダ多シ要スルニ如此手形ハ
一時ノ難ヲ救済スルノ用トナスニ止メ宜シク警戒ヲ加ヘザル
ベカラズ手形非常ニ騰貴セントスルトキ賣手ニ此ノ手形ヲ増
サシメテ以テ其激昂ヲ防グハ可ナルニ似タレトモ若シ一旦該
手形不渡トナラハ爲ニ市場ヲ攪亂スヘシ又假令不渡トナラサ
ルモ一時爲替ヲ順テラシムルモ却テ後ニ逆トナラシムルコト
少ナカラス大陸諸方ニハ此手形ヲ利用シテ英國ニ向テ正貨吸

爲替問題ハ實
際上ノ研究ヲ
便トス

收策ヲ企ツルモノアリ其他銀行家及ヒ手形仲買人ハ此手形ヲ
利用スルノ外百方策ヲ運ラシテ手形ノ價格ヲ上下シ其浮沈ノ
差ヲ利セント計ルト雖トモ其策略ハ種々ニシテ一々枚舉詳説
スルノ價值アルモノニアラズ
今ヤ結尾ニ臨テ一言センニ凡ソ貿易事業タルヤ一見スレハ錯
雜ニシテ甚タ解シ難キ問題ノ如クナリトイヘトモ現物現場ヲ
目撃スルトキハ容易ニ了解シ得ルモノナリ百聞一見ニ如カサ
ルノ諺ハ又茲ニ應用スルヲ得ヘク一兩日間實地爲替ノ事業ニ
身ヲ委子ナハ之ヲ書籍ニ由リテ刻苦研究センヨリモ了解シ易
カルベシゴツシエン氏モ此クノ如キ問題ハ文章上ヨリ解説ス
ルコト容易ナラザルモ實際ニ就テ研究セハ容易ニ了解スルコ
トヲ得ベシト云ヘリ眞ニ然リ而シテ爲替論ニ付テハ大体ニ於
テ學者ト實業家ノ間ニハ異論アルコトナシトイヘトモ只彼ノ

爲替順逆ノ事ニ就キ之ヲ處スルノ策略如何及ビ其策略ヲ施ス
 ノ時間ノ長短又其策略施行ノ時期及ヒ度合如何ニ至リテハ各
 人其意見ヲ異ニスルヲ免レス之ガ爲メ爲替モ亦學理ト實歷ヲ
 合セテ講究スルノ必要アリト知ルヘシ

外國爲替論終

外國爲替論附錄

第一表 金銀貨平均相場

(第八統計年鑑ニ據ル以下亦同シ)

年	明 治 二 十 一 年				年	次	東 京		廣 濱		英 貨
	三 月	六 月	九 月	十 二 月			金 貨	銀 貨	金 貨	銀 貨	
全	三三	三四	三一	三二	二	三	〇	三	〇	三	六
全	三三	三四	三一	三二	三	〇	〇	三	〇	三	五
全	三三	三四	三一	三二	四	〇	〇	三	〇	三	二
全	三三	三四	三一	三二	五	〇	〇	三	〇	三	七
全	三三	三四	三一	三二	六	〇	〇	三	〇	三	九
全	三三	三四	三一	三二	七	〇	〇	三	〇	三	五
全	三三	三四	三一	三二	八	〇	〇	三	〇	三	一
全	三三	三四	三一	三二	九	〇	〇	三	〇	三	五
全	三三	三四	三一	三二	十	〇	〇	三	〇	三	七
全	三三	三四	三一	三二	十一	〇	〇	三	〇	三	二
全	三三	三四	三一	三二	十二	〇	〇	三	〇	三	七

表中金銀貨ハ一圓ニ對スル紙幣英貨ハ一磅ニ對スル洋銀ナリ又平均相場ハ十二ヶ月間ノ平均ニ據ル

第二表 外國為換相場

年次	明治廿一年				全十九年	全二十年	全十一年	全十二年	全十三年	全十四年	全十五年	全十六年	全十七年	全十八年
	平均	十二月	九月	六月										
紐約	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三
倫敦	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
巴黎	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
柏林	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
上海	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三
香港	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三

外國為換相場

五九

外國為換相場

五八

コ-31732

お

輸出入及超過

外國爲替論附錄終

六二

~~21~~ 338
~~258~~ A43

25. 9. 19

終

